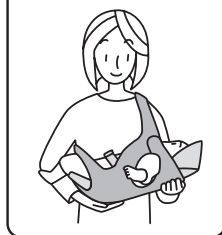


Combi

コンビ はじめてホールド かんたんタイプ RY 2ウェイミックス RY Baby Soft Carrier 取扱説明書

ヨコだっこ



タテ対面だっこ



おんぶ



※ヨコだっこは、はじめてホールド かんたんタイプのみ可能です。

子守帯を3年以上ご使用の場合、生地等の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。



- 誤った使用方法でお子さまが傷を負う可能性がありますので、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 本製品を他の方にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡してください。

もくじ

お使いいただく前に

ご使用の前に	1
安全にお使いいただくために	1
各部のなまえ	5
股部カバーの使いかた	6
わきベルトの調節方法	6

ヨコだっこ ※はじめてホールド かんたんタイプのみ

新生児～首すわり（7kg まで）	
ヨコだっこの準備	7
ヨコだっこで使うには	8

タテ対面だっこ

首すわり～24 ヶ月（13kg まで）	
タテ対面だっこの準備	12
タテ対面だっこで使うには	12

おんぶ

首すわり～36 ヶ月（15kg まで）	
おんぶで使うには	17

お手入れ

お手入れ	20
品質保証書	21

ご使用の前に

このたびは、コンビ はじめてホールド かんたんタイプ /2 ウェイミックスをお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」して、外気浴、買い物のときなどに使用するための 1 人用子守帯です。ご使用の前に、5 ページの「各部のなまえ」をご確認ください。

● はじめてホールド かんたんタイプは、お子さまを「ヨコだっこ」「タテ対面だっこ」「おんぶ」できます。

● 2 ウェイミックスをお買い上げのお客様へ

- ・ お子さまを「タテ対面だっこ」「おんぶ」できます。
- ・ この取扱説明書のうち、「タテ対面だっこ」「おんぶ」に関する内容をよくお読みの上、正しくお使いください。(使いかたについては、12～19 ページをお読みください。)

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や物的損害の大きさや危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の 2 つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■ 使用できるお子さまの月齢について

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

使いかたのスタイル	参考月齢				限度体重
	新生児	首がすわる	腰がすわる	24ヵ月	36ヵ月
ヨコだっこ ※はじめてホールド かんたんタイプのみ	新生児～ 首すわりまで (4ヵ月頃まで)				7kgまで
タテ対面だっこ		首すわり～ 24ヵ月まで			13kgまで
おんぶ		首すわり～ 36ヵ月まで			15kgまで

- ※ 冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。
- ※ お子さまの首がすわるまでは、必ずヨコだっこ専用シートを取り付け、ヨコだっこでご使用ください。
- ※ ヨコだっこ使用時のお子さまの身長は約 64cm までが目安です。
- ※ 本製品における新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上のお子さまを示します。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

☐ 枠 (2～4 ページ) の中に具体的な注意内容が書かれています。

記号は警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。

⚠ 警告

【とめる】

ご使用の際は、以下のバックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

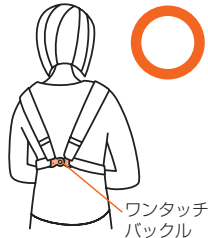
●ヨコだっこする時

- ・ホールドバックル



●タテ対面だっこする時

- ・ブリッジバックル
- ・ワンタッチバックル



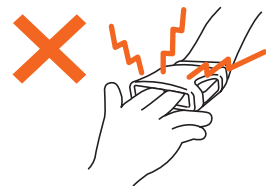
●おんぶする時

- ・ブリッジバックル



⚠ 注意

はずした状態のバックルの開口部に、お子さまが指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、けがをするおそれがあります。



【調節する】

ご使用の際は、以下のベルトの長さを使用者の身体にあわせて必ず調節してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

●ヨコだっこする時

- ・わきベルト左右
- ・ホールドベルト



●タテ対面だっこする時

- ・わきベルト左右



●おんぶする時

- ・わきベルト左右

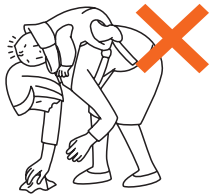


⚠ 警告

お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。



使用中に走ったり、飛び跳ねたり 45° 以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。



だっこするときは、必ず手で支えてください。お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



次のようなお子さまには、ヨコだっこで使用しないでください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

- 体重 7kg 超のお子さま
- ヨコだっこ専用シートのヘッドガードから頭部が出てしまうお子さま
- 寝返りができるお子さま



タテだっこやおんぶの際、お子さまの腕をヘッドサポートの上から出さないでください。落下のおそれがあります。



ヨコだっこするときは、お子さまの頭部をお尻よりも高い位置にし、必ず後頭部を手で支えてください。

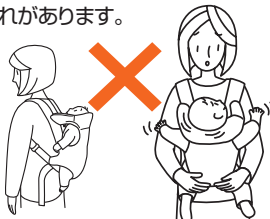
不安定な状態で抱くと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



タテ前向きだっこをしないでください。お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。

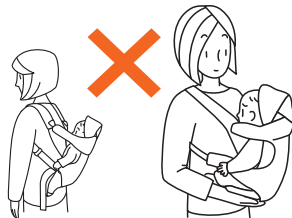


首がすわっていないお子さまに対しては、必ずヨコだっこ専用シートを取り付けてヨコだきし、絶対にタテだっこやおんぶをしないでください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



タテだっこやおんぶの際、必ずヨコだっこ専用シートをはずしてください。

お子さまの頭部を圧迫するおそれがあります。



△ 注意

タテだっこやおんぶの際、お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまふときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(15 ページ参照)

あたたまま使用すると落下のおそれがあります。



お子さまの様子をときどき確認してください。異常が見られたときには、すぐに使用をおやめください。



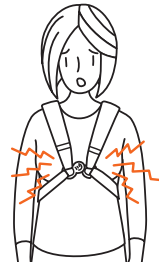
授乳後約 30 分以内や、連続 2 時間以上の使用はしないでください。

お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。



使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。特に、授乳期のお母さまはクロススタイルでおんぶをしないでください。

乳房を圧迫するおそれがあります。



タテだっこやおんぶの際、お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまふときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(15 ページ参照)

あたたまま使用するとお子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が 1 ヲ所でも破損したときには、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。



ヨコだっこやタテだこの際、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。

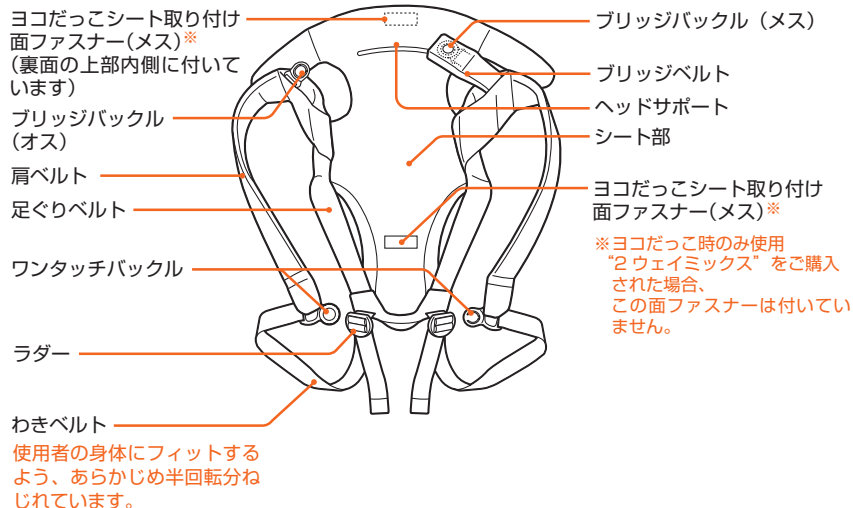


お子さまをだっこ、またはおんぶする以外の目的では、使用しないでください。破損・故障の原因になります。※歩行時以外での使用はできません。



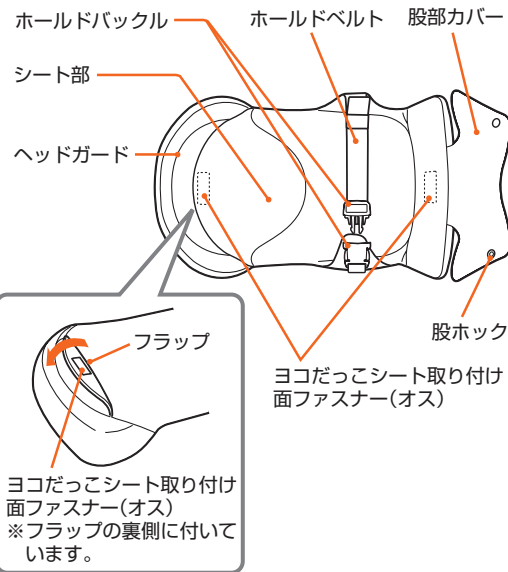
各部のなまえ

子守帯（本体）



ヨコだっこ専用シート

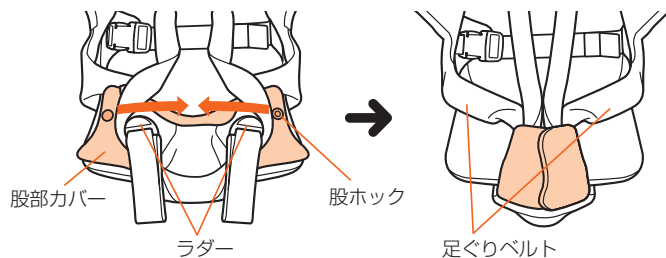
※はじめてホールド かんたんタイプのみ付属。



股部カバーの使いかた

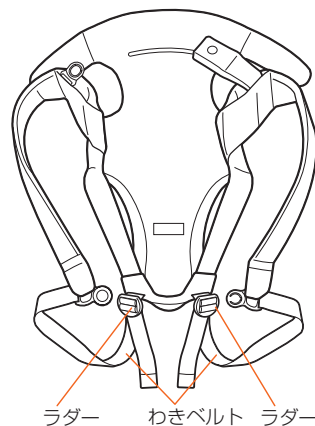
※はじめてホールド かんたんタイプのみ

ヨコだっこのときには、わきベルトの余りやラダーと足ぐりベルトをまとめて股部カバーに収納し、股ホック 1 ヶ所をとめます。



※ベルトなどがカバーから出ている、ご使用上、特に問題はありません。

わきベルトの調節方法

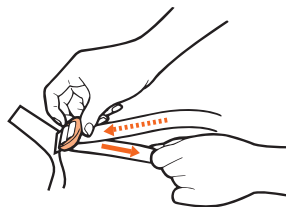


わきベルトを調節するのは、このようなときです。

- ・ お子さまの高さ調節。
- ・ 使用者の身体にフィットさせる。
- ・ ヨコだっこするとき、お子さまを水平にたもつ。

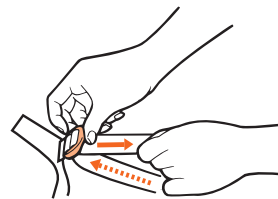
●短くするとき

ラダーを立てて、わきベルトの余りを引っぱります。



●長くするとき

ラダーを立てて、わきベルトを引き戻します。



お使いいただく前に

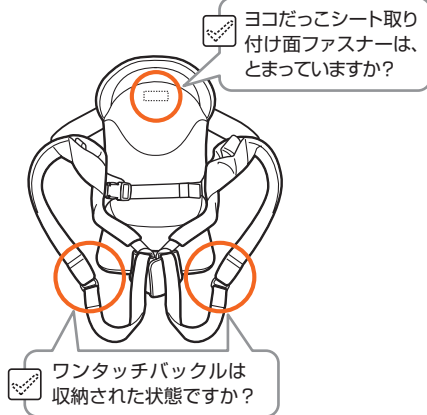
ヨコだっこの準備

※はじめてホールド かんたんタイプでヨコだっこする場合にお読みください。

各部の状態を確認する

開封時はヨコだっこ専用シートがセットされていますが、必ず下記のチェックポイントで各部の状態を確認してください。

チェックポイント



わきベルトの長さを調節する

お子さまを乗せる前に、使用者の身体に肩ベルトがあうようにわきベルトの長さをラダーで調節します。

子守帯を左右の肩ベルトを重ねて、肩からわきへ斜めにかける

※わきベルトは、使用者の身体にフィットするよう、あらかじめ半回転分ねじれています。

※わきベルトを調節したあとは、余ったベルトやラダーを股部カバーの中にまとめ、股ホックをとめます。〔「股部カバーの使いかた」6ページをご覧ください。〕



●子守帯の位置が低いとき

わきベルトを短くする。
(6ページ参照)

●子守帯の位置が高いとき

わきベルトを長くする。
(6ページ参照)

ヨコだっこの理想アングル

使用者の身体に近い方のわきベルトを短めに調節(10cm程度)すると、お子さまを水平にバランスよくだっこできます。

※開封時はわきベルトが左右同じ長さにセットされています。必ずご使用の前に調節してください。

～悪い状態～



角度がかたむき、お子さまが片側へ寄ってしまいます。

～理想の状態～



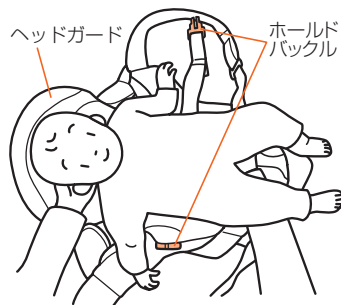
お子さまが水平になるよう、わきベルトを調節してください。

ヨコだっこで使うには

・左だっこ・右だっこ、どちらでもお使いいただけます。ここでは、左だっこで説明しています。

1 ヨコだっこ専用シートにお子さまを乗せる

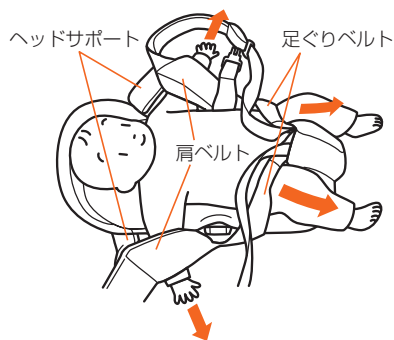
安全な場所に子守帯を広げ、ヨコだっこ専用シートのホールドバックルをはずしたあと、お子さまを寝かせます。



警告 お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

2 お子さまの両足を、左右の足ぐりベルトに通す

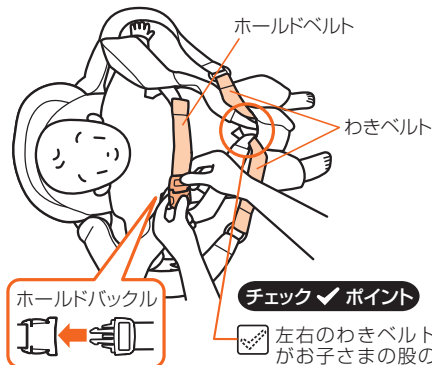
お子さまの両腕を、肩ベルトとヘッドサポートの間に通す



※お子さまの腕は出さなくても、ヨコだっこができます。

3 ホールドベルトを締める

ホールドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込み、ホールドベルトの長さを調節します。



チェック✓ポイント

左右のわきベルトがお子さまの股の間を通っていますか？



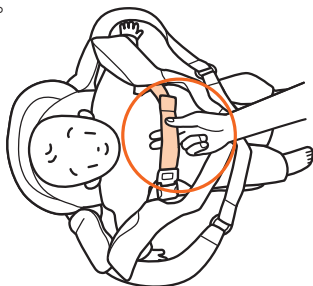
警告 ホールドバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

ヨコだっこで使うには



ホールドベルトの長さの目安

ホールドベルトの長さは、大人の指（第2関節）が2～3本入るくらいが目安です。



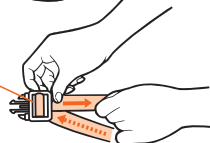
ホールドベルトの調節方法

長くするとき



短くするとき

ホールドバックル



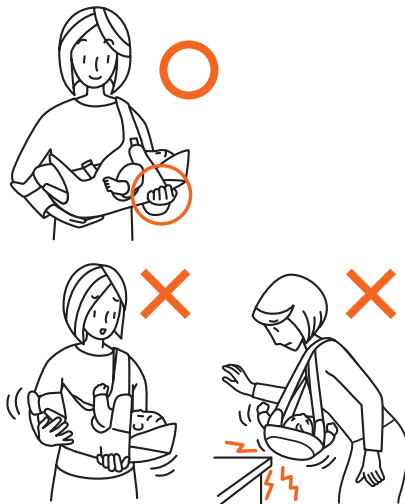
4 お子さまをだっこする

左右の肩ベルトをあわせ、肩からわきへ斜めにかけてみます。
上体を起こし、お子さまの頭部とお尻の部分を手で支えます。



※お子さまが水平になるよう、わきベルトを調節してください。
(6～7ページ参照)

●お子さまをヨコだっこするときは、図のように必ず後頭部を手で支えてください。



上記の内容を守らないと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



上記の内容を守らないと、身体を前に傾けたときに使用者の身体から離れ、不安定な状態になります。

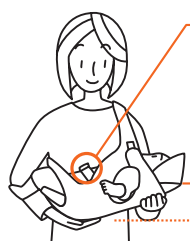
5 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。



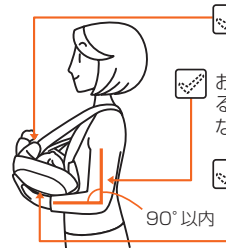
右記のチェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。また、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

チェック✓ポイント



✓ ホールドバックルは、確実にとまっていますか？

✓ お子さまの頭の位置はお尻より高くなっていますか？



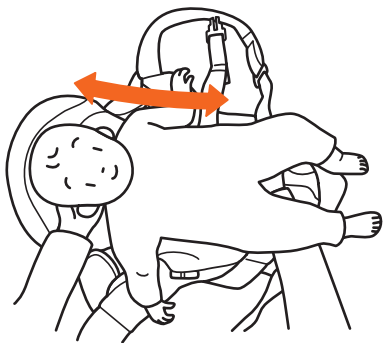
✓ お子さまに肩ベルトがあたっていませんか？

✓ お子さまの頭部を支えている手の角度が、90° 以内になっていますか？

✓ ヨコだっこ専用シートは水平になっていますか？（7 ページ参照）

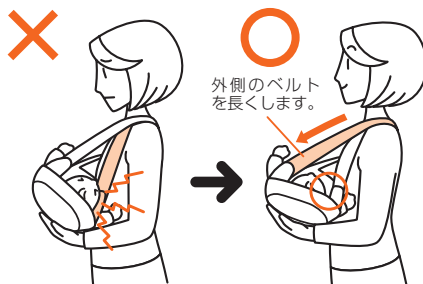
お子さまに肩ベルトがあたってしまう場合には

肩ベルトがあたらないように、お子さまの寝かせ位置を調節してください。

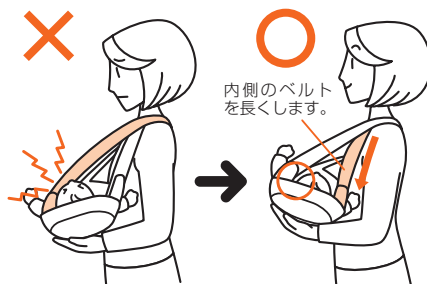


肩ベルトがあたらないように、肩ベルトの長さを調節してください。

●内側のベルトがあたる場合は、外側のベルトを長くしてください。



●外側のベルトがあたる場合は、内側のベルトを長くしてください。

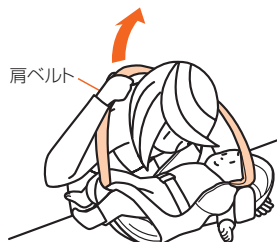


ヨコだっこで使うには

ヨコだっこのはずしかた

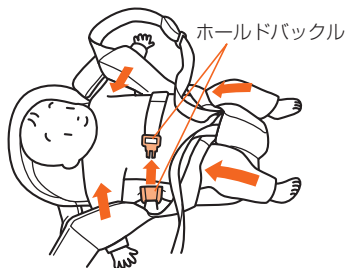
1 お子さまを寝かせ、肩ベルトをはずす

お子さまを両手で支えながら、安全な場所に寝かせ、使用者から肩ベルトをはずします。



2 ホールドバックルをはずす

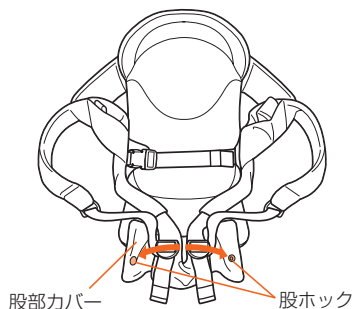
3 両手と両足を子守帯から抜いたあと、お子さまをおろす



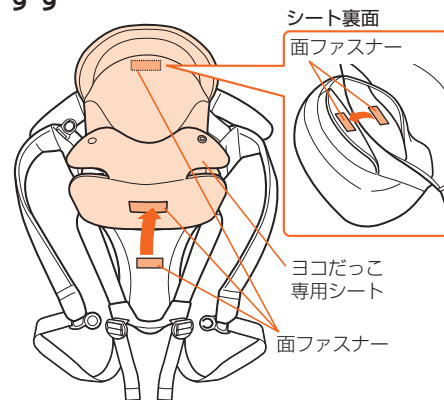
ヨコだっこ専用シートのはずしかた

開封時はヨコだっこ専用シートがセットされていますが、洗濯をするときやタテだっこ・おんぶをするときには、次のようにはずしてください。

1 股部カバーの股ホックをはずす



2 シート裏面の取り付け面ファスナー(2ヵ所)をはずし、子守帯(本体)からヨコだっこ専用シートをはずす



ヨコだっこ専用シートを取り付けるときは

上記のはずしかたの手順を逆に行ってください。(手順2→1)

最後に股ホックをとめるときは、わきベルトの余り部分やラダーを股部カバーにまとめてからとめるようにしてください。(「股部カバーの使いかた」6ページをご覧ください。)



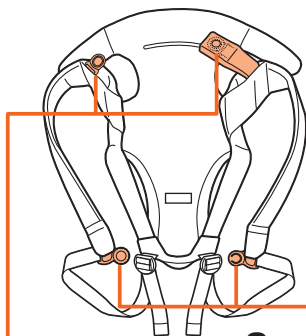
ヨコだっこ専用シートを取り付けるときは、股ホック、取り付け面ファスナーを確実にとめてください。使用中にヨコだっこ専用シートがはずれると、お子さまが落下するおそれがあります。

タテ対面だっこの準備

※はじめてホールド かんたんタイプのみ、ヨコだっこ専用シートをはずしてご使用ください。

1 ブリッジベルトとブリッジバックル（オス）を取り出す

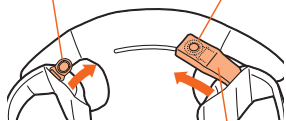
2 ワンタッチバックルを取り出す



1

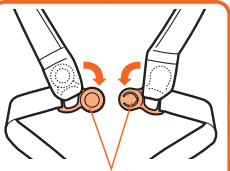
ブリッジバックル
（オス）

ブリッジバックル
（メス）



ブリッジベルト

2



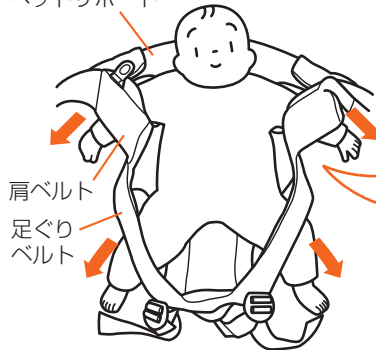
ワンタッチバックル

タテ対面だっこで使うには

1 お子さまを子守帯に乗せ、図のように両足と両腕を通す

安全な場所でお子さまを乗せてください。

ヘッドサポート



お子さまの腕は、わきぐりカーブの下のラインより上に乗せてください。



わきぐり
カーブ

警告

お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

注意

わきぐりカーブより下にお子さまの腕を乗せて装着すると、
お子さまのわきがうっ血するおそれがあります。

つづく ➡

タテ対面だっこ

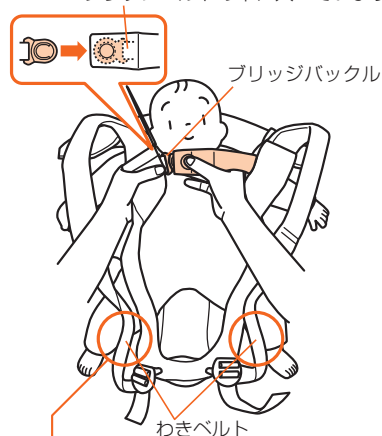
首すわり〜13kgまで

タテ対面だっこで使うには

2 ブリッジバックルをとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

ブリッジバックル(メス) は
ブリッジベルトの中に入っています。



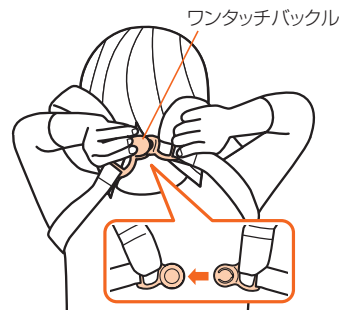
チェック✓ポイント

- ☒ 左右のわきベルトが
お子さまの股の間を
通っていますか？

※ブリッジベルトは、通気性が確保されているので、
お子さまの呼吸には支障ありません。

3 左右の肩ベルトをかけ、ワンタッチバックルをとめる

図のように左右のバックルを持ち、
前かがみになり首の後ろでワンタッ
チバックルを「カチッ」と音がするま
で差し込みます。

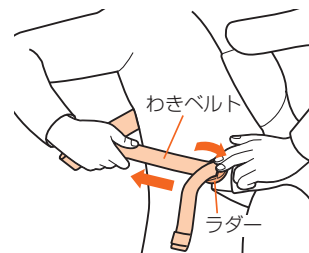


4 使用者の身体にフィットさせる

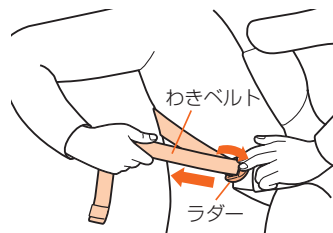
わきベルトの余りを左右同じ長さに
調節します。

「わきベルトの調節方法」6 ページを
ご覧ください。

- 長くするときはラダーを立てて、わき
ベルトを引き戻します。



- 短くするときはラダーを立てて、わき
ベルトの余りを引っぺします。



5 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

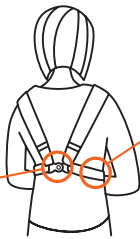
チェック✓ポイント

●確実にとまっていますか？

ブリッジバックル



ワンタッチバックル



●使用者の身体にフィットするように調節していますか？

わきベルト左右



上記のチェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。



ヘッドサポートを折って使用しないでください。お子さまに思わぬ負担をかけるおそれがあります。



お子さまの頭で前方の視界が妨げられないように調節してください。また、足元が見えにくくなることがありますので、歩行には注意してください。



●お子さまについて

○ お子さまの肩がヘッドサポートにあたっていませんか？(15 ページ参照)

○ お子さまのわきの下がシートにあたっていませんか？(15 ページ参照)

○ お子さまのももがシートに圧迫されていませんか？(15 ページ参照)



上記のチェックポイントを守らないと、お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。



上記のチェックポイントを守らないと、お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

タテ対面だっこで使うには

お子さまの位置(だっこの高さ)を調節する

- お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまう場合には

シートのみを上方に引っ張り、お子さまのお尻を使用者側に引き寄せてヘッドサポートとお子さまの肩のすきまを調節してください。

※お子さまが成長し、お子さまの身体の位置を調節しても肩があたる場合は使用をやめてください。

※必要に応じてわきベルトの長さを調節してください。(6 ページ参照)



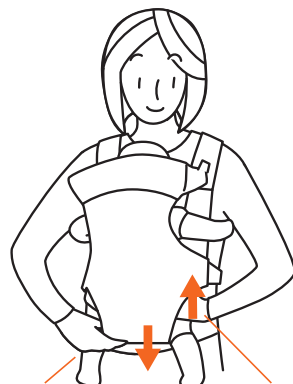
シートを上方に
引っばります。

お子さまのお尻を
使用者側に引き寄せます。

- お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまったり、ももが圧迫される場合には

シートのみを下方に引っ張り、シートとお子さまの身体のすきまを調節してください。

※必要に応じてわきベルトの長さを調節してください。(6 ページ参照)

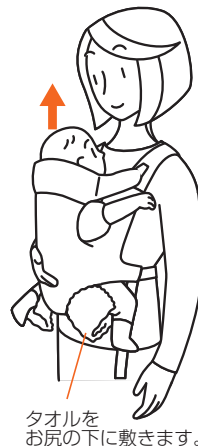


シートのみを
下方に引っばり
ます。

お子さまのお尻を
持ち上げます。

- 調節してもお子さまが低い場合には

お子さまのお尻の下にタオルを敷くなどして
お子さまのお尻の高さを調節してください。



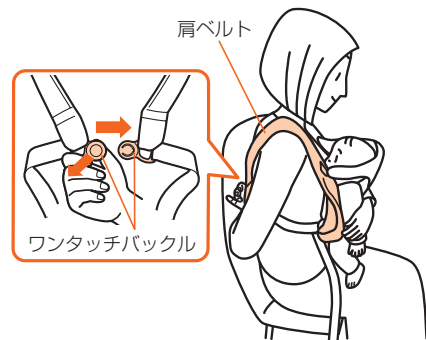
タオルを
お尻の下に敷きます。

タテ対面だっこのはずしかた

1 ワンタッチバックルをはずして、肩ベルトをはずす

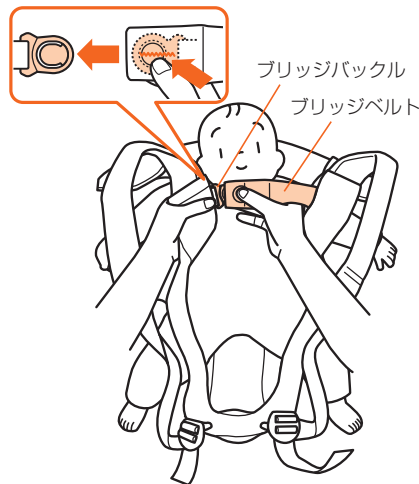
安全な場所にすわり、お子さまを支えながら、ワンタッチバックルをはずし、肩から左右の肩ベルトをはずします。

※ワンタッチバックルをはずすには、図のように差し込んだバックルの内側から親指で外側に押します。



2 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ブリッジバックルをはずす

ブリッジベルトの赤いラインを押し、ブリッジバックルをはずします。



3 足と腕を子守帯から抜き、お子さまをおろす

お子さまの足を足ぐりベルトから抜きます。
腕も子守帯から抜いて、抱き上げます。

おんぶで使うには

※はじめてホールド かんたんタイプのみ、ヨコだっこ専用シートをはずしてご使用ください。

1 子守帯にお子さまを乗せる

「タテ対面だっこで使うには」(12～13 ページ)の手順 1、2 をご覧になり、子守帯にお子さまを乗せてください。

チェック✓ポイント

- ☒ 左右のわきベルトがお子さまの股の間を通過していますか？
- ☒ プリッジバックルはとまっていますか？



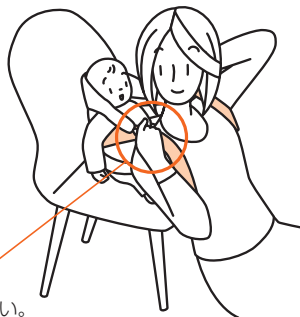
警告

お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えをしていただくとより安全です。) 不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

2 お子さまを背負う

お子さまを乗せて立ち上がるときは、肩ベルトの付け根部分をしっかり持ってください。

※ 他の人に介添えしていただくと、より安全です。

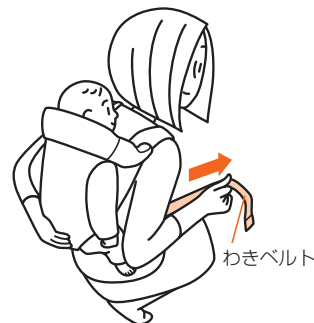


肩ベルトの
付け根部分を
しっかりとってください。



3 わきベルトを調節し、身体にフィットさせる

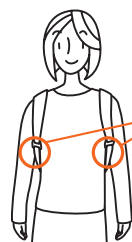
わきベルトの余りを左右同じ長さに調節します。



4 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、おんぶの状態を最適な状態にしてください。

チェック✔ポイント



●使用者の身体にあわせてフィットするように調節していますか？

わきベルト左右



上記のチェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。



●お子さまについて

□ お子さまの肩がヘッドサポートにあたっていないませんか？(15 ページ参照)

□ お子さまのわきの下がシートにあたっていないませんか？(15 ページ参照)

□ お子さまのももがシートに圧迫されていないませんか？(15 ページ参照)



上記のチェックポイントを守らないと、お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。



上記のチェックポイントを守らないと、お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

おんぶのときは、約 30 分ごとに
お子さまの様子を確認してください。

おんぶしているときは、使用者からお子さまが見えませんが、特に低月齢のお子さまの場合は、約 30 分ごとにお子さまをおろして様子を確認するように心がけてください。

●お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまう場合には、15 ページの方法を参考に調節してください。

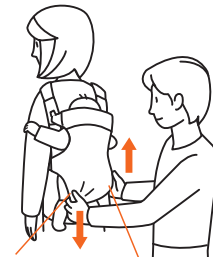
※お子さまが成長し、お子さまの身体の位置を調節しても肩があたる場合は使用をやめてください。



シートを上方にひっぱります。

お子さまのお尻を使用者側に引き寄せます。

●お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまったら、ももが圧迫される場合には、15 ページの方法を参考に調節してください。



シートのみを下方に引っ張り上げます。

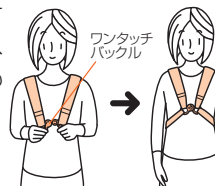
お子さまのお尻を持ち上げます。

おんぶで使うには



クロススタイルでおんぶする

わきベルトを伸ばし、ワンタッチバックルを胸の下の部分でとめ、使用者の身体にあわせてフィットさせると、クロススタイルのおんぶも可能です。



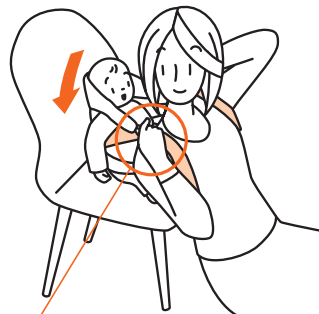
使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。
特に、授乳期のお母さまはクロススタイルでおんぶをしないでください。乳房を圧迫するおそれがあります。

おんぶのはずしかた

※ クロススタイルのおんぶの場合は、ワンタッチバックルをはずしてから行ってください。

1 お子さまを背中からおろす

※他の人に介添えしていただくとより安全に行えます。



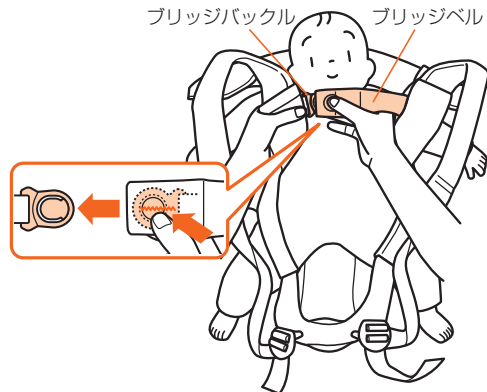
肩ベルトの付け根部分を持ってください。



2 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ブリッジバックルをはずす

ブリッジベルトの赤いラインを押し、ブリッジバックルをはずします。

ブリッジバックル ブリッジベルト



3 足と腕を子守帯から抜き、お子さまをおろす

お子さまの足を足ぐりベルトから抜きます。

腕も子守帯から抜いて、抱き上げます。

お手入れ

日常のお手入れ

- 洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。



お子さまのよだれなどが生地に付きますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

保守・点検

- ご使用の際には、製品のほつれ、きず、破れ、バックルなど部品の破損がないか、確認してください。



上記を1ヵ所でも見つけたときには、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。

洗濯についてのご注意

- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。
- ヨコだっこ専用シートは、面ファスナー（オス）が他の洗濯物を傷つけるおそれがありますので、別に洗ってください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- 洗濯表示、生地素材については、製品本体に縫製されております洗濯ラベルをご参照ください。

コンビ株式会社

Web上にコンビの育児サイトを開設しています

コンビの製品&育児情報サイト・コンビタウン

<http://www.combibaby.com>

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間：10:00～17:00（日祝日・年末年始を除く）

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271 TEL.(048)797-1000 FAX.(048)798-6109
部品販売（相談）窓口 TEL.(048)797-1001 FAX.(048)798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

担当受付時間：10:00～17:00（土日祝日・年末年始を除く）

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18
TEL.(06)6536-0456 FAX.(06)6536-4468

* ホームページのご案内 <http://www.combi.co.jp/cp/>

118046020 09.05